

浮き流し養殖試験

三井所正英・平野 哲美・宮崎 征男

I 試験実施場所

試験実施場所は図に示すとおりである。対照網は現ノリ漁場の沖合漁場に設置した。

A 多良沖試験地 太良町地先干潟部沖合で、干潮時水深約3m、現ノリ漁場からの沖出し距離は約300mである。

B 六角川沖試験地 六角川干潟部沖合で、干潮時水深約2m、現ノリ漁場から沖出し距離は約1,500mである。

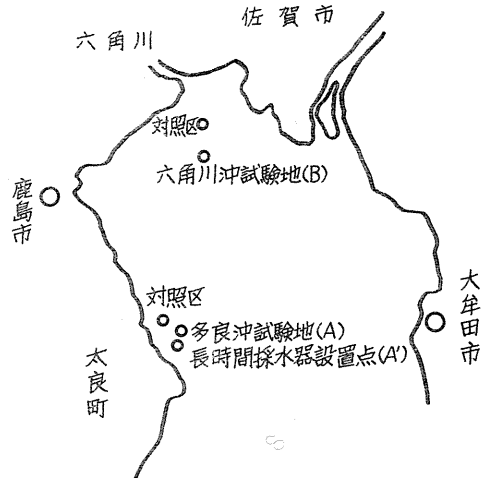


図 養殖試験地及び観測地点

II 試験方法

潮流の早い試験地で、ノリ網を正常に浮き流し状態にたもつため、4枚1組の小まとめにして、6組24枚で各試験地とも試験を実施した。予備網は抑制網を使用した。

III 養殖経過

1. 採苗、移殖

(1) 多良沖試験地 昭和41年10月15日室内採苗、芽付き普通。11月中旬あかくされ病発生するも被害軽微。12月2日試験地に移殖(葉長5~10cmノリ網14枚。葉長1~5cmノリ網10枚)。

(2) 六角川沖試験地 10月10日野外採苗芽付き良好。11月上旬頃あかくされ病発生するも被害軽微。12月7日試験地に移殖(葉長約5cm)。

2. 養殖

(1) 多良沖試験地 1月1~8日、1月13~17日頃に浮竹の一部が強風のため破損した以外は順調で、3月始め終漁した。替網は1月10日10枚、1月19日に4枚成育の悪い網を予備網と張り替えた。

(2) 六角川沖試験地 12月26・27日に浮竹の一部、1月13～17日頃1組のノリ網(4枚)、1月28日浮竹の一部が強風のため破損した以外は順調で、2月下旬ノリに硅藻(リクモホラ)の付着が多くなり終漁した。

IV 養殖成績

(1) 多良沖試験地 移殖後21日目の12月23日に第1回の摘採(第1表)を行ない、第2回の摘採は1月4日で第1回摘採後12日目である。第2回摘採後1月10日に24枚中10枚のノリ網を予備網(葉長1～5cm)と張り替えた。第3回の摘採は1月17～18日で約2週間後であった。替網も同時に摘採している。第3回摘採後1月19日に最初移殖網の残り14枚中4枚を予備網(葉

第1表 収量と品質

(替網)

浮き流し網	摘採月日	41.1.2.23	42.1.1.4	42.1.17.18	42.2.8～12	計	42.1.17	42.3.4		
	摘採ノリ網数	24	24	14	10	—	10	4		
	ノリ生産数	5,400	7,500	1,500	15,000	42,900	3,000	1,500		
	ノリ網1枚平均生産数	225	313	1,071	1,500	3,109	300	375		
	等級	上特・特等	上特・特等	上1等	C4等	—	上1等	C4等		
対照網(通常養殖)	摘採月日	41.1.2.15	42.1.2.25	42.1.7	42.1.20	42.1.31	42.2.10	42.2.24	42.3.17	計
	摘採ノリ網数	10	10	10	10	10	10	10	10	—
	ノリ生産数	2,500	3,750	7,000	6,000	3,500	3,500	3,500	1,200	30,950
	ノリ網1枚平均生産数	250	375	700	600	350	350	350	120	3,095
	等級	特等	上特等	上特等	特上1等	上2特	上3等	上2等	4等	—

長0.5～1cm)と張り替えた。第4回の摘採は約3週間後の2月8～12日で、最初の移殖網の残り10枚について行なった。1月19日に張り替えた予備網4枚から3月4日に摘採した。これら替え網は1回の摘採で終漁した。4回摘採されたノリ網は10枚でノリ網1枚当りの平均収量は約3,100枚、第1・2回摘採時収量は2,500枚前後で、第3・4回は1,000～1,500枚であった。品質は上特等～上1等が過半数で1月下旬に急速に色落ちし、硅藻(クモホラ)の付着が目立った。

(2) 六角川沖試験地 移殖後11日目の12月18日第1回の摘採(第2表)を行ない、第2回の摘採は1月9日で、第1回摘採後22日目である。第3回の摘採は2月3日で、25日目であった。第3回目はノリ網の破損で、ノリ網20枚についての収量である。ノリ網1枚当たり平均収量は約900枚、毎回摘採時収量は300枚前後で、第2回目が最も多かった。品質は特等が多く、1月頃から品質は低下してきたが硅藻付着による品質低下が目立った。

第2表 収量と品質

浮き流し網	摘採月日	4 1.1 2.1 8	4 2. 1. 9	4 2. 2. 3	計		
	摘採ノリ網数	2 4	2 4	2 0	—		
	ノリ生産数	6,2 0 0	9,2 0 0	5,1 0 0	2 0,5 0 0		
	ノリ網1枚平均生産数	2 5 8	3 8 3	2 5 5	8 9 6		
	等級	重上特・特等	上 特 等	C 1 等	—		
対照網 (通常 養殖)	摘採月日	4 1.1 1.2 0	4 1.1.2. 8	4 1.1 2.2 5	4 2. 1.1 5	4 2. 2. 2	計
	摘採ノリ網数	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	—
	ノリ生産数	5,0 0 0	3,0 0 0	3,0 0 0	2,0 0 0	1,0 0 0	1 4,0 0 0
	ノリ網1枚平均生産数	5 0 0	3 0 0	3 0 0	2 0 0	1 0 0	1,4 0 0
	等級	特 等	上 1 等	上 1 等	上 2 等	上 2 等	—

第3表 ノリ漁場の水温・比重

月日	411.03	108	1029	1116	1128	1215	421.17	127	228	314
水温℃	22.0	21.9	18.4	16.2	13.1	8.8	5.2	8.2	8.9	11.7
比重	23.14	21.73	21.37	20.38	22.19	21.58	21.93	22.76	22.40	23.04

V ノリ場の海況

多良沖試験地の表面水温・比重の観測結果を第3表に示した。六角川沖試験地に比較して栄養分が少少ないと思われる太良町多良地先沖合漁場で10月～2月まで月1～2回、長時間連続採水器により採水し水質分析を行なった結果を第4表に示した。

本報告を終るにあたり試験に協力いただいた佐賀市西与賀、太良町多良本部両漁業協同組合に謝意を表します。

第4表 浮き流し養殖漁場の栄養塩類

地点	観測年月日	水温℃	塩素量%	PO-P r/l	NH ₃ -N r/l	NO ₂ -N r/l	NO ₃ -N r/l
多 良 沖 試 験 地 (A)	41.10.14~15	22.4	15.90	27	90	3.0	24
	10.31~11.1	19.4	16.33	30	64	4.3	3
	11.1~2	19.4	16.30	30	79	2.5	9
	11.14~15	18.1	15.30	25	65	2.9	37
	11.15~16	18.1	14.76	30	68	6.9	82
	12.2~3	11.5	15.98	28	88	6.3	45
	12.15~16	10.3	16.13	26	114	3.0	25
	42.1.11~12	7.4	16.48	13	19	1.5	12
	1.12~13	7.1	16.43	14	19	1.5	11
	2.13~14	8.9	16.45	5	4	0.8	1
2.14~15	8.3	16.44	6	0	2.0	2	
同 (A)	41.10.14~15	22.5	15.97	26	95	2.7	13
	10.31~11.1	18.8	16.16	27	86	4.3	10
	11.1~2	18.8	16.15	29	82	4.3	27
	11.15~16	17.4	14.73	32	72	6.1	87
	12.2~3	10.8	15.76	33	132	4.5	53
	12.14~15	8.4	15.98	26	72	3.0	24
	12.15~16	8.4	15.94	26	100	3.0	19
	42.1.11~12	6.2	16.28	14	11	2.0	12
	1.12~13	6.4	16.29	14	31	2.3	9
	2.13~14	8.2	16.16	6	0	0.5	1
	2.14~15	7.9	欠	7	12	3.3	7

注：採水器設置時水温観測，採水器設置時間約24時間。